学校生活の手引き
(生徒手帳抜粋)

2025 年度
(令和 7 年度)

東京都立東村山西高等学校

生活について

充実した学校生活をおくるために教育目標を良く理解しましょう。

- 1) けじめのある学校生活をおくる。
遅刻は1日の大きな損失。事故防止のため余裕を持って登校する。
- 2) 礼儀正しい態度を身につける。
教職員、外来者には、明るく挨拶をしよう。
- 3) 環境の美化にすすんで取り組む態度を身につける。
 - ・ 決められた清掃を、責任をもって果たすとともに、すすんで美化に努める。
 - ・ 常に清潔で明るい学習環境を保つため、まず、一人ひとりが汚さないように心掛ける。
 - ・ 公共物は大切にし、自然を愛護するように心掛ける。
- 4) 登校・下校
 - ・ 登下校の際は交通規則、交通道德を守り、事故防止につとめる。
 - ・ 8時45分までに教室でSHRの準備をする。放課後は16時50分までに、すみやかに下校する。
 - ・ 登校後は、放課後まで外出を禁止する。やむを得ず外出の必要が生じた場合には、学級担任に願い出て許可を受ける。
 - ・ 休日活動は原則として禁止する。ただし、部活動などで登校する場合には、所定の手続きにより許可を受け、顧問の監督下で活動する。
 - ・ 休業中については別に定める。
- 5) 出欠席
 - ・ 欠席・遅刻・早退の場合には、当日の朝8時20分までに保護者から学校へ連絡する。連絡方法は以下の①②。
 - ① ホームページ内の連絡フォーム（当日の朝～9時）
 - ② 電話連絡（8時20分以降）
 - ・ 欠席が長期にわたる場合
診断書またはそれに代わるものの提出を求められることがある。
 - ・ 忌引
事前に学校へ連絡し、後日、忌引届を、担任を経て教務部へ提出する。
 - ① 忌引日数については、次のとおりとする。
 - (ア) 父母・保護者……………7日以内
 - ② (曾) 祖父母・兄弟姉妹・伯叔父母……3日以内
 - ③ 従兄弟姉妹・その他の親族……………1日
 - ④ なお、法事等については別途定めるので問い合わせること。

- ・ 出席停止
学校感染症にかかった場合、医師の指示する期間は出席停止期間となる。その場合、医療機関の証明書を提出することにより欠席扱いにならない。
- ・ 公欠
次の場合に該当する欠席については、「公欠願」を教務部に提出する。公欠は出席扱いとなる。
 - ① 進学・就職試験を受ける場合
 - ② 高体連及び高文連が主催する大会に参加する場合
 - ③ その他、学校が特に認めた場合

6) 所持品

携帯電話は、使用が許可されていない時（授業・式典等）には使用してはならない。
（令和7年3月21日臨時生徒総会で決議）

- ① 生徒証は、常に携帯すること。
- ② 所持品には、必ず記名し、各自が責任もって管理する。
- ③ 拾得物、遺失物、または盗難被害にあったときは、ただちに担当教員、学級担任に届け出る。
- ④ 生徒間の金銭・物品の貸借はしない。

7) 校内活動

- ・ 集会・掲示・署名等の活動は担当教員を通じて生活指導部の許可を受ける。
- ・ 校内に飲食の自販機はあるが、生徒全員に確保できるものではないので、昼食は各自持参すること。

8) 校外活動

- ・ 生徒会、部活動で対外活動を行う場合には、担当教員、顧問、部活動指導委員の監督下で行う。
- ・ 校外の事故については、すみやかに学校に連絡する。

9) 学校設備、器具など

- ・ 破損の場合は、直ちに HR 担任または担当教員に届け出て指示を受ける。状況によっては弁償させることもある。
- ・ 学校の施設、備品等を使用するときは、事前に所定の手続きをとり許可を受ける。
- ・ ロッカーは、鍵をかけて使用する。

10) 禁止事項

- ・ 原動機付き自転車、自動二輪車、自動車、電動キックボードでの登下校時の乗車、同乗。
- ・ やむを得ない場合に限り、保護者や家族による自動車の送迎を認める（要連絡）。
- ・ 生徒間の金銭の徴収、物品の売買。

服装について

- 制服は正しく着用する
- 制服への加工は認めない

- 制 服**
- ・休日登校・長期休業中の登校・校外教育活動の場合も平日とすべて同様とする。
 - ・6月1日、10月1日を衣替えとする。ただし気象条件等により移行期間を設ける。
 - ・夏服期間は夏服を着用とし、ポロシャツ（白・紺）を着用することができる。
冬服期間は冬服を着用とする。
 - ・希望購入 スカート、スラックス、カーディガン・ベスト
 - ・スカートの丈は、膝頭の中心を基準とする。
- 通 学 靴**
- ・ブーツ・サンダルは不可
- コート類**
- ・華美でないもの、高価でないものとする。
(色は黒・紺・茶・ベージュ・白・灰・青・緑を基調とする。ただし、青・緑は暗い色とする)
令和3年11月17日生徒総会決議令和3年12月1日施行開始
- 頭 髪**
- ・髪の毛の加工、着・脱色は禁止。
- 化 粧**
- ・化粧、マニキュアは禁止。
 - ・ピアス、ネックレス、指輪などアクセサリーをつけない。
- 異 装 届**
- ・やむを得ず異装する場合は、期限を定めて許可する。
「この場合、事前に担任を通じて生活指導部の許可を受ける」

自転車通学について

1. 許可制とする。
許可基準は、収容台数、希望者の通学距離、交通機関の状況によって定める。
2. 希望者は、担任を通して生活指導部に申請する。
この場合、防犯登録済であること（登録番号を明記）、また自転車傷害保険に加入していること、雨天時に着用するレインコート・ヘルメットを購入していることが必要である。
3. 許可を受けた者は指定された番号を記入したステッカーを自転車の見やすい位置に貼る。
4. 自転車通学者の義務
多勢による自転車通学は本人の事故のみならず、一般歩行者、その他への危険、迷惑になることが多い。自転車利用の許可を受ける者は以下の事項を必ず守る。
 - 1) ヘルメットを着用すること。
 - 2) 自転車は必ず個人ごとに指定された位置におく。
 - 3) 駐輪禁止区域など学校周辺に放置することは厳禁する。
 - 4) 交通ルールを守る。
 - 5) 通行人には進路をゆずる。
 - 6) イヤホンをしての運転は禁止する。
5. 自転車利用の仕方が適切でない場合は、許可を取り消される。